

(特非) 富士山測候所を活用する会

富士山頂における環境保全活動および大気環境観測研究を通じた次世代人材育成プログラム

イベント参加者の満足度	90%
助成活動がメディアに掲載された回数	2回
活動の全体目標に対する達成度	100%



Fuji-Sat Challenge チームの登山 (8月1日)

◆成果と工夫したポイント

●成果

学生公募により、入門助成の範囲では試験的なケースとして1件のみ採択した。このプロジェクト参加者に対して、プロの登山家及び環境省トイレ管理者による富士山頂環境保全活動実習を実施した。

●工夫

測候所利用者の大学生に対し、プロの登山家及び環境省トイレ管理者による富士山頂環境保全活動を実施した。

課題

将来、環境保全関連の業務に従事する大学生のため、当団体が保有する人的ネットワークと富士山頂の恵まれた環境を活用し、学生に高度な環境保全教育の機会を提供する。

目標

富士山測候所の利用者4割の大学生らの相互関係を活発にし、学問的レベルの向上のみならず、富士山頂の大気環境維持に関する意識の向上及び環境保全の実地訓練をさせる機会を与える。

活動内容

- *研究者を取りまとめる仕組みを作り、「仮想環境教育機関」としての機能をもたせるようにする。
- *学生の自主性を高めるべく、学生対象の公募研究を行う。
- *参加学生の実習として、測候所運用期間中の山頂の保全活動も行う。



小金井市科学の祭典でアウトリーチ活動 (10月4日)

達成できなかったこと

申請書における達成目標ではないが、公募研究の応募が1件であり、数件に到達しなかった。これは広報期間が短かったためと思われる。

今後の展望

当団体でしか成し得ない環境保全教育であることがわかったため、次年度も自主資金で継続したい。